

-てんさい新品種-

糖分が高くて多収の「H152」

セスバンデルハーベ種子会社(ベルギー):育成
ホクレン農業協同組合連合会:輸入
令和2年:北海道優良品種認定

特性 Characteristics

- 長所 1. 根中糖分が高い。
2. 「ラテール」と比べて、
根重がやや多く、糖量が多い。
- 短所 1. 褐斑病抵抗性が“中”である。
2. 根腐れ病抵抗性が“弱”である。



概要 Abstract

- 高糖分の「ラテール」並に高い根中糖分を持つ(表1)。
- 「ラテール」より、収量性が向上している(表1)。
- 褐斑病抵抗性は、“強”の「ラテール」より弱いですが、“やや弱”の「パピリカ」より強い“中”である(表2)。
- 褐斑病発生に特に注意が必要な圃場を除いて「ラテール」に置き換える。

成績 Results

表1. 収量全道平均(平成29年~令和元年)

品種名	根重 (t/10a)	根中 糖分(%)	糖量 (kg/10a)	「ラテール」対比(%)		
				根重	根中糖分	糖量
H152	7.57	17.54	1,328	105	102	108
ラテール(置換対象品種)	7.18	17.18	1,235	100	100	100

注) 収量平均は、北見農試、十勝農試、および北海道てん菜協会(3か所)の全道5か所のべ15か所平均

表2. 病害等抵抗性

品種名	抽苔 耐性	病害抵抗性			
		そう根病	褐斑病	根腐病	黒根病
H152	強	強	中	弱	やや強
ラテール	強	強	強	弱	やや強
パピリカ	強	強	やや弱	やや弱	中

注) 病害抵抗性の試験は、北見農試(抽苔耐性、そう根病)、十勝農試(褐斑病、根腐病)、中央農試(黒根病)で行った。

普及 Spread

適地: 北海道一円、普及見込面積: 3,000ha

栽培上の注意:

- 褐斑病抵抗性が“中”であるので、適切な防除に努める。
- 根腐病抵抗性が“弱”であるため、適切な防除に努める。

連絡先 Contact

北見農業試験場 研究部 地域技術グループ 0157-47-2146 kitami-agri@hro.or.jp